

「茨城圏中央道産業コンプレックス」基本計画の概要

計画のポイント

- ・生活と産業の未来を拓く環境共生型の産業コンプレックス地域として「高付加価値型生活関連産業」「市場創造型新産業」「自動車関連産業」を集積
- ・「つくば」の研究開発力、地域が培ってきた多彩な製品提供力、東京・成田空港・鹿島港等に至近な立地条件などを有利に展開
 - 地域一体的な企業立地ワンストップサービス体制の構築（窓口の明確化・情報共有化・共同的課題解決体制）
 - 豊富な教育・研究機関・産業支援機関等と連携した人材育成・技術支援（高付加価値化・市場創造力のたゆまぬ更新）
 - 企業ニーズに即した人材マッチング、地域に立脚したフォローアップ、住みよい地域づくりで人材の確保・定着化
 - 国際戦略総合特区制度や企業立地補助制度等の国の制度を活用した企業立地の促進

1. 集積区域：茨城県圏中央道沿線地域（古河市、五霞町、境町、坂東市、常総市、つくば市、土浦市、阿見町、牛久市、龍ヶ崎市、河内町、美浦村、稲敷市）

2. 集積業種：◆高付加価値型生活関連産業 ◆市場創造型新産業（ライフイノベーション関連産業、グリーンイノベーション関連産業） ◆自動車関連産業

3. 集積区域における集積業種に係る達成目標

- 付加価値額伸び率：5.8%
- 新規立地件数：110件
- 製造品出荷額増加額：1,800億円
- 新規雇用数：3,700人

4. 目標に向けた事業環境整備等

- 共用施設の整備：用地・施設を活用し企業ニーズに柔軟に対応
 - ・オーダーメイド方式・リース方式による工業用地の整備・提供
 - ・空き用地・施設の情報提供・ブロードバンド環境、創業・新事業支援施設の充実
- 人材の育成・確保：人材育成機関等と連携し企業の人材ニーズに対応
 - ・高度・専門的な人材の育成、在職者の訓練機会、新規採用者の教育充実
 - ・労働力確保に関する連絡会議の設置、企業説明会・就職相談会の開催等
- 技術支援等：世界に誇るインキュベーション機能と地域技術の連携化
 - ・豊富な研究機関の研究成果の活用、創業・新事業進出相談ワンストップサービス
 - ・産学官連携コーディネート、アドバイザー機能、知的財産に関する相談機能の充実
 - ・圏中央道沿線地域における産学官交流、連携の推進（ネットワーク形成）
- その他：圏中央道沿線を一体とする効果的な企業誘致・事業支援体制の構築
 - ・地域一体的な企業誘致、企業立地ワンストップサービス
 - ・フォローアップ体制の確立
 - ・地域と企業による住みよいまちづくりの展開
 - ・農工連携の推進

5. その他関連情報

- 圏中央道茨城県区間の全面開通は平成26年度以降
- 「つくば国際戦略総合特区」によるライフイノベーション分野（メディカル、ロボット）、グリーンイノベーション（バイオ、ナノテク）分野の研究推進
- 鹿島港が平成23年に「国際バルク戦略港湾」に指定

地域力を結集して生活と産業の未来を拓く「茨城圏中央道産業コンプレックス」



- ★食料供給基地、優れた自然環境・歴史文化的環境を背後に擁する。
- ★生産用機械、食品、化学工業、輸送用機械、プラスチック製品等が集積
 - ・産業を支える機械・装置・部品・各種素材・資材等
 - ・生活を支える食料・薬品・住宅設備・高機能日用品等
- ★筑波研究学園都市に国等の教育・研究機関等32機関が集積（全国の1/3）。
 - ・約230社のベンチャー企業が集積。工業高校や専門学校も人材輩出。
- ★産総研・筑波大をはじめとする研究機関等の産学官連携部門、つくば研究支援センター、中小企業支援機関等の産業支援機能が多数集積